

福島県の貿易概況のポイント

平成 30 年上半期（輸出：確報 輸入：速報）

1. 福島県の貿易概況（上半期比較）

- ・輸出額：816 億 88 百万円⇒約 273 億円の増加（50.3%増）
- ・輸入額：2,616 億 6 百万円⇒約 516 億円の増加（24.5%増）
- ・輸出入合計：3,432 億 94 百万円⇒約 789 億円の増加（29.8%増）

【輸出動向】

輸出伸率（50.3%）は、平成 28 年下半期（27.8%）以降 4 期連続の増加。

主に医薬品、船舶類、石油製品等が増加の要因。

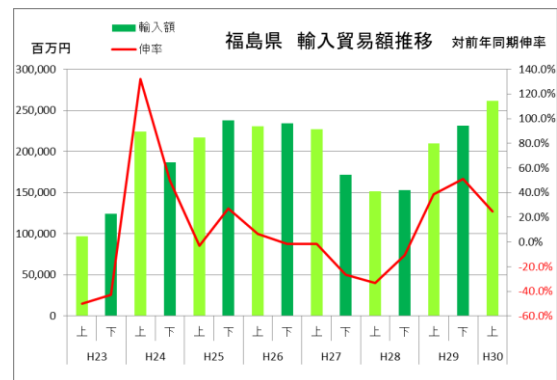
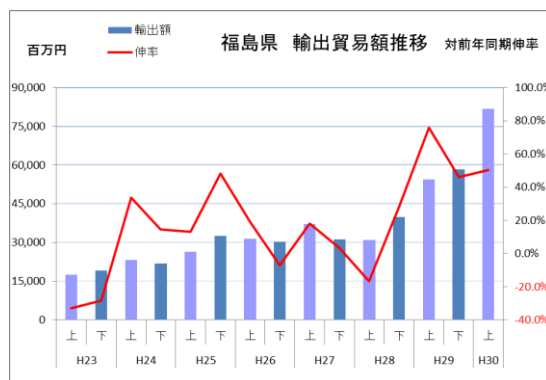
地域（国）別では、英国、中華人民共和国、パナマ等が増加。

【輸入動向】

輸入伸率（24.5%）は、平成 29 年上半期（38.7%）以降 3 期連続の増加。

主に有機化合物、非鉄金属鉱、石炭等が増加の要因。

地域（国）別では、ベルギー、オーストラリア、ロシア等が増加。



2. 港別の貿易概況(上半期比較)

○ 小名浜港

- ・輸出額:544 億 79 百万円⇒約 342 億円の増加(2.7 倍)
- ・輸入額:2,016 億 9 百万円⇒約 413 億円の増加(25.8%増)
- ・輸出入合計:2,560 億 87 百万円⇒約 756 億円の増加(41.8%増)

【輸出動向】

輸出伸率(2.7 倍)は、平成 28 年下半期(7.8%)以降 4 期連続の増加。

主に、医薬品、船舶類、石油製品等が増加の要因。

地域(国)別では、英国、中華人民共和国、パナマ等が増加。

【輸入動向】

輸入伸率(25.8%)は、平成 29 年上半期(42.4%)以降 3 期連続の増加。

主に有機化合物、非鉄金属鉱、石炭等が増加の要因。

地域(国)別では、ベルギー、オーストラリア、大韓民国等が増加。

○ 相馬港

- ・輸出額:272 億 10 百万円⇒約 69 億円の減少(20.2%減)
- ・輸入額:599 億 97 百万円⇒約 102 億円の増加(20.5%増)
- ・輸出入合計:872 億 7 百万円⇒約 34 億円の増加(4.0%増)

【輸出動向】

輸出伸率(-20.2%)は、前年同期と比較して反転減少。

主に原動機、鉄鋼、くぎ・ねじ・ボルト及びナット類等が減少の要因。

地域(国)別では、アメリカ合衆国、スペイン、ドイツ等が減少。

【輸入動向】

輸入伸率(20.5%)は、平成 29 年上半期(28.0%)以降 3 期連続の増加。
主に石炭、石油ガス類、荷役機械等が増加の要因。
地域(国)別では、ロシア、オーストラリア、アメリカ合衆国等が増加。

○ 福島空港

- ・輸出額:実績なし
- ・輸入額:実績なし
- ・輸出入合計:実績なし

【輸出動向】

輸出実績なし。

【輸入動向】

輸入実績なし。

[参 考]

「速報」「確報」「確定」について

貿易統計は、税関への輸出入の申告などを基にして作成していますが、申告には、時として間違いや輸出入取引による価格の変更等が生じます。そこで、できるだけ、正確な統計を提供すべく、申告者の皆様など関係者の方々にご協力願って、訂正作業を行っています。

(1) 速報

この訂正作業の第1段階の締切日で作成したものが「速報」です。

(2) 輸入 9 桁速報及び輸出確報

毎月の定期的な訂正作業の最終締切日で作成したものが「輸入 9 桁速報」及び「輸出確報」です。

小名浜税関支署で提供する資料の「輸入：速報値」は、この輸入 9 桁速報を使用しています。

(3) 輸入確報

以前は、「輸入 9 桁速報」は存在せず、上記(2)の段階で、輸入についても「確報」としていたのですが、輸入の簡易申告制度の導入に対応するため、輸入について「確報」を1か月遅らせることとしたものです。

(4) 確定

定期的な訂正作業を終了した後に訂正箇所が新たに発見された場合、統計数値をそのたびに訂正することはせず、翌年に一括して訂正を行い、「確定」とします。「確定」を発表して以降は、訂正箇所が新たに発見されても、統計数値を変更しません。